

Weekly Michael's News

<今週の聖句>

2018年5月7日発行 No.67

『これらのことを話したのは、わたしの喜びがあなたがたの内にあり、あなたがたの喜びが満たされるためである。わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。』
(ヨハネによる福音書 第15章11～12節)

<何だか体調が優れない…。そんな時におススメの一冊!! 片柳神父の「こころの深呼吸」!!>

先月、神戸の中山手にあるカトリック中央教会で行われた講演会に行ってきました。現在カトリック、いやキリスト教の枠をも超えて活躍されている片柳弘史神父が、「こころの深呼吸」という書籍の発刊記念として行われたもので、会場には多くの参加者が集っていました。片柳神父は、現在山口県の宇部にある教会と3つの幼稚園で勤めておられますが、週末には全国を飛び回って講演を続けられておられます。加えて教誨師（刑務所を慰問し収容者・受刑者の精神的サポートを行う）や宗教の枠を超えた対談など精力的な働きも続けておられます。「すごくパワフルな人かな…?」と思っていたのですが、お話を聞くと全く逆…というか、物腰柔らかく、常に自然体で語り、何より身の周りの全てから喜びを見出せるセンスをお持ちのようでした（羨ましい!!）。片柳先生は、文章だけでなく写真の腕前も超一流!! 教会の庭を訪れる鳥や咲いている小さな花の写真は、思わず息を呑むような美しさがあり、心温まるメッセージを更に豊かにしています。新刊の書籍や資料も購入してきましたので、興味・関心のある方はキリスト教センターまで!!



光溢れるカトリック神戸中央教会



分かりやすくユーモア溢れる講演



全国を飛び回って講演されてます

<チャップリンのドタバタGWレポート!! 心身を軽くするには断捨離と掃除が一番!! 庭の雑草を一掃!!>

みなさんこのGWはどう過ごされましたか? 私は実家の荷物を断捨離しました!! この「断捨離」とは、元々は仏教で用いられる言葉でしたが、最近は身の周りにある多くの物を意図的に「断つ」「捨てる」「離れる」事を通してシンプルな生活を目指す生き方として注目されています。また自宅の庭に大量に生えていた雑草を息子たち3人と協力して一掃しました!! キレイになった庭や部屋を見ると胸がスッキリしました!! 新しく迎えた5月を心地良く過ごすためにみなさんもLet's断捨離!! (^O^) オススメ!!



みんなの奮闘に妻も大喜び!?

＜先週のメッセージ＞

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

4月23日（月） テーマ：「あるレジ打ちの女性の話」 野間 光顕（チャプレン）

一人の女性を紹介したい。彼女はとても飽きっぽい性格で、仕事が長続きしない。何度も職を変え、その度に自信を無くした彼女は、実家に帰ろうと荷物整理をしている時に、古い日記を発見する。そこには小さい頃からの夢を追い求める自分自身の言葉があった。それに奮い立たされた彼女は、用意していた辞表を破り、自分のできる事からコツコツと挑戦を続ける。今では主任として新人教育を担当するようになった。彼女の変化はどこから生まれたのか？それは間違いなく偶然発見した古い日記の「言葉」だ。私たちが何気なく使っている「言葉」は、私たちの人生を大きく拓く可能性を持つ。特にKIUの土台に流れるキリスト教は、「言葉」を「神」と同等と考える程大切にしてきた。この春、「言葉」を大切にしながら共に歩みたい。

4月24日（火） ※この日は音楽礼拝!! オルガニストの伊藤純子先生の演奏に耳と心を傾けました。KIUの宝であるパイプオルガンの響き、ぜひ皆さんもご鑑賞ください!! 次回は5月22日（火）です!!

4月25日（水） テーマ：「大きな選択に備えよう」 魚住 香子（経済学部）

本を読んだり映画を観た時、登場人物の台詞や言葉に感銘を受けた事はないだろうか？私は英語を研究する中で「文体論」の世界に出会った。例えば詩人や作家は、文章を書く時に使われる一つひとつの言葉に神経を遣い、選び抜いて表現する。つまりそこには「言葉の選択」が行われている。考えてみれば、私たちの人生も数多くの「選択」の積み重ねだ。それらは「お昼に何を食べるか？」という小さなものから、「どんな仕事に就くか？」「誰と結婚するか？」といった人生を左右する大きなものまで様々だ。選択する前からそれが正しいか否かを見極めるのは難しいが、選んだ後に後悔せずに、納得できるかどうかで人生の質は変わる。大切な場面での確かな判断ができるよう、普段からアンテナを張って、感性豊かに経験を積んで行こう。

4月26日（木） テーマ：「失敗は人生の養分 そして感謝」 武政 誠一（リベリテーション学部長）

これまでの人生を振り返ると、失敗の連続であったように思う。ちょっとした物事にカッとなったり、悲観的になったり、人に言えないような失敗も多く、それらを思い出しては惨めな気持ちになる…どうも私は過去の失敗に捉われ過ぎているように思う。皆さんはどうだろうか？誰でも雨よりは晴れの方がいいだろう。しかし晴ればかりだと土地が砂漠化し、森も川も命もない状況に陥る。雨は地球の養分なのだ。そう考えると、私の失敗も人生の養分として、私を成長させてくれている、もしかしたら成功より失敗の方が価値あるのかもしれない。また、失敗した時には身の周りの多くの方々が手伝ったり支えたりしてくれる事が多い。「ありがとう」という感謝の気持ちで一杯になる。失敗した時こそ、物事を違う角度から見てポジティブに歩みたい。

4月27日（金） テーマ：「証人（あかしびと）の価値」 野間 光顕（チャプレン）

歴史的な大きな変革が今、朝鮮半島で起こっている。半島を二分する北緯37°線の重要軍事拠点である板門店で韓国の文在寅大統領と北朝鮮の金正恩第一書記が握手を交わし、会談を続けている。報道の中には両国の融和政策を懐疑的に見る声もある。しかし、私たちが隣国の平和的歩み出しを助けまた支持するためにもこの状況をしっかり見つめて、この事案の確かな「目撃者」「証人」として生きたい。「愛の反対は憎しみではなく無関心である」という言葉をマザー・テレサは残している。約2000年前にイエスの存在を確かに目撃した弟子たちが「証人（あかしびと）」としてキリスト教を作ったように、私たちも今一度身の周りの動きや事例にしっかりと目と心を開いて共に歩みを進めていきたい。

（文責：野間 光顕）